

# 第37回 九州・山口スポーツ医・科学研究会

期 日：2025年12月13日

会 場：福岡大学病院 メディカルホール

発表者：谷崎 侑希



## 前十字靭帯再建術後に発生した膝蓋大腿関節症について

### 【はじめに】

前十字靭帯再建術(以下 ACLR)施行時には確認されなかった膝蓋大腿関節症(以下 PF OA)が再鏡視時に確認されるという症例を経験したため、ACLR 後の PF OA 発症例について検討した。

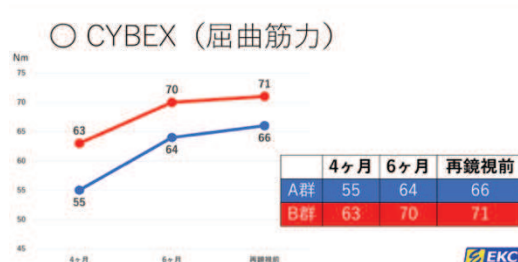
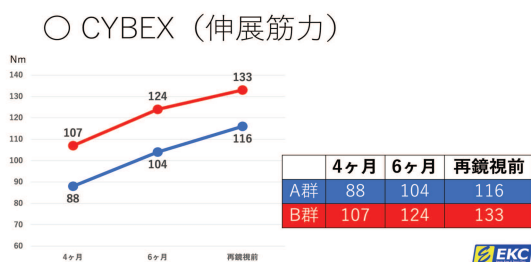
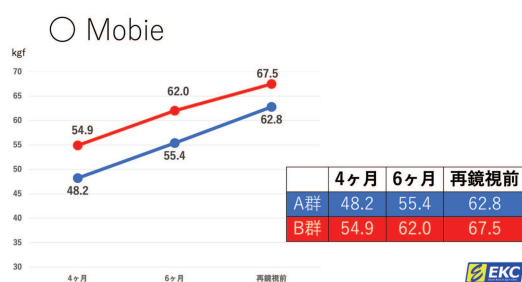
### 【対象・方法】

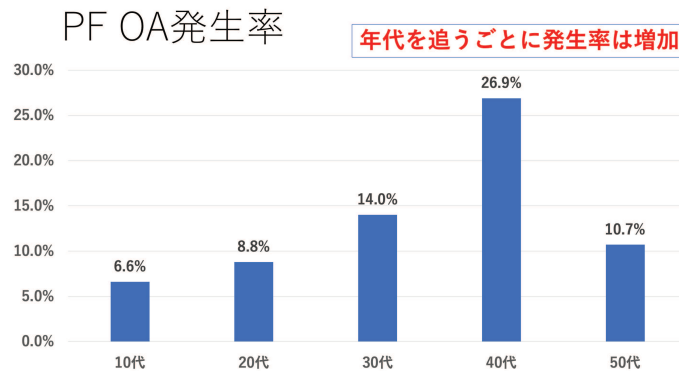
当院にて 2011 年 1 月から 2022 年 12 月の間に ACLR を施行した 1100 膝(男性 539 膝、女性 561 膝)のうち再損傷膝を除く 976 膝(男性 458 膝、女性 518 膝)

ACLR 時には認められなかった PF OA を再鏡視時に認めた 104 膝(男性 43 膝、女性 61 膝)を A 群 PF OA 非発生群を B 群とした

### 【結果】

PF OA 発生率は 10.7%で男性の発生率は 9.4%、女性の発生率は 11.8%と性別に優位差はなかった。平均年齢(中央値)は全体 25.0 歳(19 歳)、A 群 30.1 歳(31 歳)、B 群 24.4 歳(18 歳)筋力(等尺性膝伸展筋力・等速性膝伸展・屈曲筋力)は 4 ヶ月時・6 ヶ月時・再鏡視前で A 群は B 群より低値を示した。





【考察】

*Wenhan Huang et al.*

- ・ BTB はハムストリングス移植腱と比べて ACLR 後の PF OA の発生を誘発する可能性が高い

*Journal of Orthopaedic Translation 22 (2020) 14-25*

→本研究ではグラフトの違いによる PF OA 発生率の差は認められなかった  
 当院ではマイクロボーンソーを使用し可能な限り愛護的に  
 BTB グラフトを採取

*Bo Li et al.*

- ・ ACLR 時の高齢が術後 PF OA を発生させる重要な要因の 1 つである

*J Orthop Surge Res.2024 Nov 1;19:708*

→先行研究同様に当院においても  
 PF OA 発生率は高齢であるほど高かった

【まとめ】

- ・ ACLR 後の PF OA 発生率は 10.1%
- ・ 性別・選択グラフトに有意差は認めなかった
- ・ 高齢であるほど発生率は高かった
- ・ 反対側採取例でも PF OA の発生を認めた
- ・ 発生群は筋力が低値であった